

1-8-⑧ 廃棄物処理

現状・取組

- 廃棄物の適正処理、リサイクルに取り組むため施設整備を推進
- 焼却施設等の集約化により広域的な廃棄物処理を推進
 - ※焼却施設（本島）：17施設→13施設（沖縄振興計画期間中）
- 焼却処理率、減量処理率は、全国平均を上回るが、リサイクル率は低い

各種指標

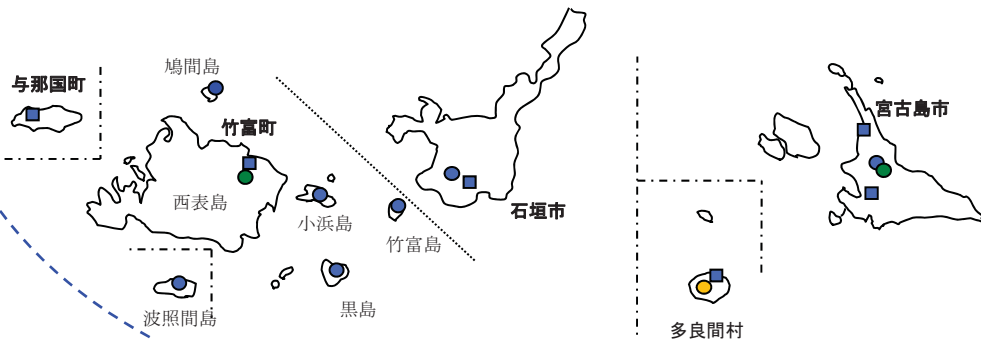
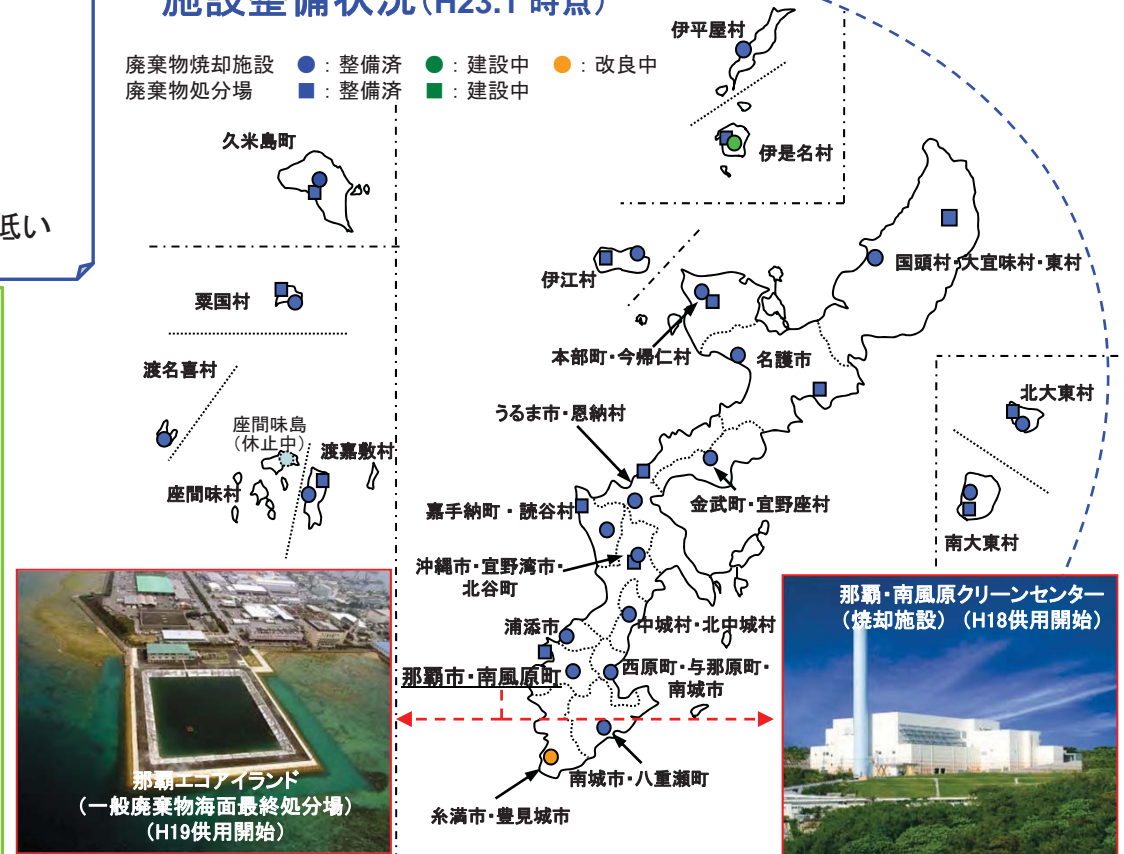
単位：%

		1次振計	2次振計	3次振計	沖振計	
		S47	S57	H4	H14	H20
焼却処理率	沖縄	25.2	60.8	69.8	79.0	87.0
	全国	56.9	65.3	74.3	78.4	79.2
リサイクル率	沖縄	—	—	1.8	11.3	12.3
	全国	—	—	7.3	15.9	20.3
減量処理率	沖縄	—	—	—	92.4	99.1
	全国	—	—	—	95.7	98.2

- ・焼却処理率：計画処理量のうち、焼却処理する率
- ・リサイクル率：資源化されたゴミ／（計画処理量＋集団回収量）
- ・減量処理率：最終処分量を減らすため、資源化・焼却等により減量処理した率

施設整備状況（H23.1時点）

- 廃棄物焼却施設 ●：整備済 ●：建設中 ●：改良中
- 廃棄物処分場 ■：整備済 ■：建設中



今後の課題

- リサイクルの取組みが本土と比べ低い
 - ・特に離島地域では、リサイクルのコストが嵩む（本島への資源ゴミの搬送）等の課題があり、取組みが遅れている。
- 地域の状況に応じた効率的な廃棄物処理体制の整備
- 現有施設の計画的な更新（老朽化対策）

1-8-9 公立学校施設整備

沖縄県における公立学校施設整備の現状等

【目的】

○公立学校施設の安全性の確保

- ・児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場
- ・地域住民の応急避難場所
(公立小学校はすべて避難所に指定されている)



壁が剥がれ落ちた校舎



防護ネットを張る校舎

【現状】

○沖縄県の特異性

- ・塩害等による学校施設の老朽化の急速な進行
→老朽化した危険な校舎の解消が急務

○公立小中学校の耐震化率・耐震診断実施率

- ・耐震化率・・・沖縄県**73.9%**(全国73.3%)
- ・耐震診断実施率・・・沖縄県**98.1%**(全国98.0%)
※全棟数:1,830棟 (平成22年4月1日現在)

○質的整備の促進

- ・地域との連携、環境との共生、防犯対策、バリアフリー化、健康や安全面への配慮



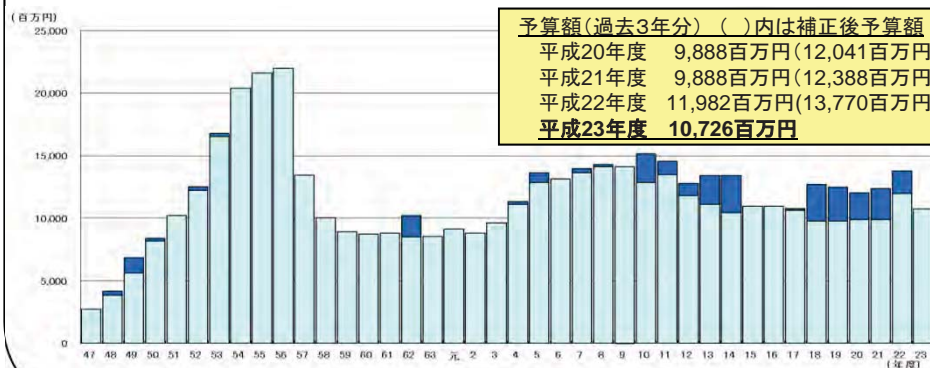
整備され緑化が進む校舎



整備された園庭で遊ぶ園児たち

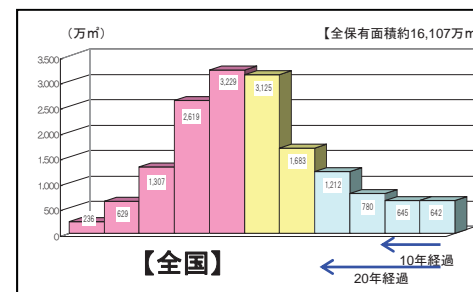
沖縄教育振興事業費の推移

内閣府にて一括計上し、文科省に移替をした上で執行。
補助率は**新增築8.5/10(本土1/2)**、**改築7.5/10(本土1/3)**



沖縄教育振興事業費の推移(昭和47年～平成23年)

老朽化の現状(全国・沖縄)【公立小中学校非木造建物の経年別保有面積(2009年度)】



沖縄は**塩害等による学校施設の老朽化が著しい**ため、**全面建て替え(改築)方式**を採っている。

(本土は早急かつ効率的に耐震性を確保するため、原則**全面建て替え(改築)方式**ではなく、安価で工期の短い**改修方式**を採っている。)

